

東日本大震災を忘れない

あれから2年…

災害の備えを



平成23年3月11日午後2時46分、東日本一帯を大規模な地震が襲いました。震災により被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

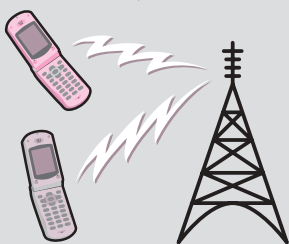
あれから2年が経ち、市内では復旧が進んでいます。全国的にはまだまだ復興がはじまったばかりともいわれています。災害を「他人ごと」ではなく、「我がごと」として、あの時の驚きや恐怖、を風化させないために、日ごろから災害に備え、家族で連絡方法や避難時の待ち合わせ場所などを決めておきましょう。食料などの備蓄品を準備しておくことも重要です。

こんなものを備えましょう

- 食糧品は最低3日分を目安に用意しておきましょう。
- 飲料水は1人1日3リットルが目安です。
消費期限を確かめながら備蓄しましょう。
- 風呂の残り湯は捨てないでとっておきましょう。
トイレの排水などに利用できます。
- カセットコンロ、ガスボンベを備えましょう。
予備のガスボンベも用意しておきましょう。
- 懐中電灯は、要所に準備し、寝室などの暗闇でもすぐ取り出せるようにしておきましょう。
予備の乾電池も用意しておきましょう。
- 正確な情報を得ることが一番大切なので、携帯ラジオは必ず用意しておきましょう。
- 配水管等設備に被害があった場合は、簡易トイレセットを活用して、自宅のトイレが利用できます。
1人あたり15個(1日5個×3日分)を目安に備蓄しましょう。



災害時にはエリアメールにより情報を配信します



坂東市では、迅速な避難情報等を伝達するための手段として、携帯電話による「緊急速報エリアメール」を導入しています。

このメールは、NTT、KDDI、ソフトバンクの3社の携帯電話から一斉に緊急情報を送信するもので、瞬時に坂東市エリア内の携帯電話に、緊急情報を配信します。

配信内容は、避難準備情報、避難指示、避難勧告及び洪水情報などの災害時の緊急情報等で、坂東市民だけでなく坂東市を訪れている人にも配信されます。通信料などはかかりません。